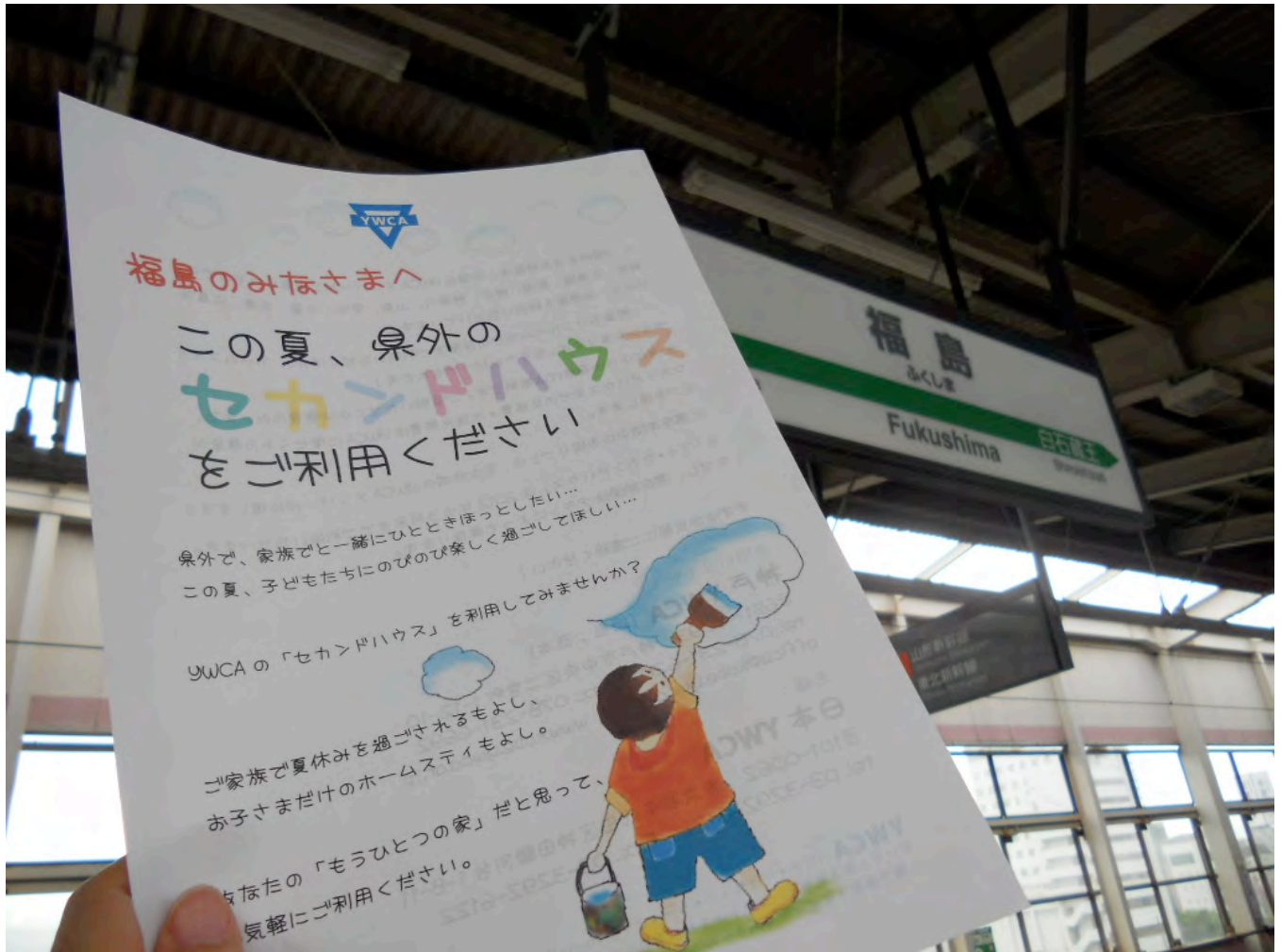


いっしょにいぐべ通信② 2011年8月

神戸YWCA（担当：西本）神戸市中央区二宮町1-12-10
TEL 078-231-6201



ようこそ神戸へ！

ようこそ、県外のもうひとつの家族のもとへ！

神戸YWCAでは、この夏、放射能被災下にある福島市から2家族をお迎えして、安心、安全な夏休みをご提供すべく準備してきました。実は神戸だけでなく、日本全国の地域YWCAで「あなたのもうひとつの家をご利用ください」と、25の住宅が用意されました。8月末までに14家族が沖縄から北海道まで一時避難のために動いていきます。

7月25日、福島から新幹線で約6時間、2家族のうち1家族が兵庫の地を踏みました。大きな荷物を抱えたこどもたちとお母さん。よくぞ、こんな遠くまで来てくださった！と胸がいっぱいになりました。これから、高校野球、遊

園地、お城巡りと楽しい企画をいっぱいたててくれています。ほんのひとときではありますが、ご家族にとって楽しい夏休みとなりますように祈ります。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

加えて8月10日から15日には、神戸YWCAとの共同企画「余島わいわいキャンプ」に3家族（9人）と5人のこどもたちをご招待します。

10日の夜には神戸YWCA会館の5階で、ウェルカムパーティー計画中。ぜひ皆様で福島の方々をお迎えください！（西本）

■神戸 YMCA&神戸 YWCA 共同企画 余島わいわいキャンプ ウェルカムパーティに ご参加ください！！

神戸 YWCA は神戸 YMCA と共同して8月 10 日(水)～15 日(月)まで「余島わいわいキャンプ」を行います(神戸 YMCA が余島キャンプ(8/11-14)を担当。神戸 YWCA は福島からの送迎、前後プログラムを担当します)。

その初日 10 日の夕方(17:30～19:00/於:神戸 YWCA 会館チャペル)、福島からの皆様をお迎えして「ウェルカムパーティ」を開催します(参加費 1,000 円)。ぜひ一人でも多くの方にご参加いただいて、福島の皆さんを温かくお迎えしたいと願っております。差し入れ、お手伝い大歓迎。ご参加希望・その他お問い合わせは、神戸 YWCA 西本までどうぞ。
〈わいわいキャンプスケジュール〉

8月 10 日(水)	新神戸到着 17:30 ウェルカムパーティ 三ノ宮泊
11 日(木)	余島へ出発
14 日(日)	余島から帰阪。三ノ宮泊
15 日(月)	神戸観光の後、昼頃、福島へ向かって戻り。

■Voices from FUKUSHIMA

「あの事故が起きたからこそ、私たちは前に進めるのです」

「あの事故さえなければ…と私は思いません。あの事故が起きたからこそ、私たちは前進できるのです。私たちはもっと賢くなれます。あの事故が起きたからこそ、私たちは原発のない未来に向かって歩いていけるのです。全世界から原発をなくす…それがあの日、私に与えられた使命です」。福島市内の果樹園を営む大内有子さんのことばです。

この大内さんをはじめ、放射能被災下で苦闘する

女性たちの声が、ニュースレター「Voices from FUKUSHIMA」(英語版)にまとめられました。日本 YWCA 運営委員の樋口さやかさんと神戸 YWCA・住田の労作です。7月の世界 YWCA 総会で紹介され、世界中の女性たちに届けられました。ぜひ、皆様も福島の声をお聞きください。英語版・日本語版共に近日完成予定。

■「生命を選ぶ」

福島 YWCA 会長 渡辺園子さんを囲んで

さる7月 14 日、福島 YWCA 会長・渡辺園子さんが来神。神戸 YWCA 会員の方々約 30 名が集まる中、3月 11 日の発災以来、何よりも精神的苦痛に苛まれている福島のお母さんの現況をお話し下さいました。

放射能被災への理解や危機感には個人差・温度差があるため、母親と学校との軋轢、母親同士の軋轢、妻と夫、母と子どもの軋轢、そして子ども同士の軋轢が、一人一人を苦しめているとのこと。もし行政が「避難」と言ってくれたら、こんなにすっきりすることはない、ともおっしゃいました。

「これまで原発は遠かった。でもこんなに近かった」。渡辺さんが最後におっしゃったこの言葉は、私たちにとっても重い言葉でした。

福島リンゴジュース

大量購入の方はこちら！

・注文ロットは1種類一箱(30 本入り)から。3箱まとめると送料がお得です。

・ご注文は FAX で。お名前、ご住所、電話番号、発注数(箱数)をお忘れなく。

★ ご注文先：

太田玲子さん (福島 YWCA)

TEL&FAX : 024-577-1470

いっしょにいぐべ！福島